



Reporter:  
Kyoto Kagaku America Inc.  
西澤 悠貴

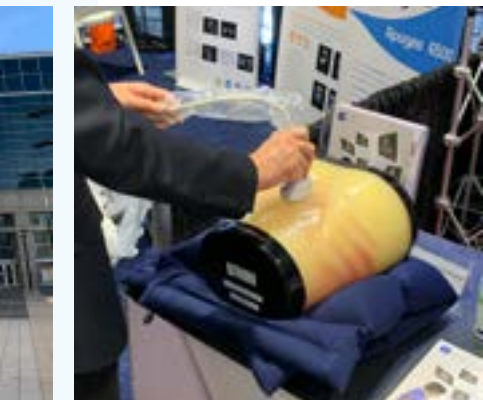
## What's RSNA 2021?

RSNAは、世界中の放射線科医、医学物理学者や医療関係者が集まる世界最大規模の放射線学会です。前回は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響でVirtual Meetingのみとなりましたが、今回はオンラインとインサイトの両方で2021年11月28日～12月2日の5日間、米国イリノイ州シカゴのマコーミックプレイスを会場として開催されました。

参加者登録総数は約21,000人で、例年の半数程度に留まりCOVID-19のパンデミックが続いていることがうかがえました。

初日は米国外からの参加者が多く、2日目以降にアメリカ国内・南米からの参加者が多かったように思いました。アジア諸国の訪問者は全体的に少ない印象でした。また、バーチャル参加者は、ライブデモンストレーションやライブチャットなどの要素を使用してリアルタイムで出展社と関わることができる仕組みもあり、各出展社で工夫を凝らした演出が見られました。

# 北米放射線学会 出展レポート



## “Redefining Radiology”

### 今回のテーマと特徴

テーマは“Redefining Radiology”[放射線学の再定義]で、革新、研究、教育、ネットワークを通じて放射線医学を発展させるため、未来を決定づける最先端の技術や斬新な実践方法が紹介されました。

乳房、心臓、神経、物理学といったあらゆる分野でAIを組み込んだセッションが用意されており、インパクトのあるトピックとして取り上げられていました。

また、COVID関連のイメージングに関する様々な研

究や、パンデミックに対応して行われた国際的な診療の変更の成功例も発信されており、コロナ過の経験が活かされたセッションも多くありました。

出展企業も目新しいデバイスやソフトウェアアプリケーションに力を入れて発信しており、AI技術を活用して正確性や再現性を向上させるソフト、ディープラーニングを応用した画像再構成技術を組んだ装置など先端技術が見られました。

### 感染対策を徹底して開催されたTechnical Exhibits

Technical Exhibitsには約500の企業が出展、またバーチャル展示企業も約50社の参加がありました。

入場の際はCOVID-19ワクチン接種要件が実施されており、また、出展社はブースへの専用の出入り口を備えた追加の予防措置(追加ブース清掃や広いスペース、タッチレス要素、デジタル体験など)が組み込まれ感染対策もしっかりされていました。





## 京都科学の展示

京都科学では、放射線関連製品と超音波関連製品の2つのブースに分けて来場者にアピールしました。どちらのブースも来場者が絶えず、これまで経験したことのないほどの反響でした。

### 放射線ブース

#### 胸部ファントムが人気の放射線ファントム

ラングシリーズを中心に肺炎関連製品、動態ファントム、DECT評価用ファントムなどを展示、多くの来場者の目を引きました。

COVID-19の影響もあり、胸部ファントムの問い合わせや購入したいとのコメントが多かったように思います。腫瘍のバリエーションも新たに追加され、あらゆる状況を設定して撮影できるポイントが好評でした。又、動態系のファントムもたくさんの方が興味深々に立ち止まっていただきました。



#### | 出展品

胸部ファントムN-1ラングマン/N-1用肺炎模擬腫瘍・チェスト・乳房プレート/小児胸部ファントム5Y型/CT心臓胸部動態ファントム/心臓動態ファントム(参考出展)/新生児全身ファントムPBU-80/DECT評価用ファントム/PET・SPECTファントム用パーツ/ムービングファントム(参考出展)

### 超音波ブース

#### 小児モデルやブレスト関連が人気の超音波ファントム

売れ筋のラインナップに加え婦人科ファントムの新ユニット、エコーラング、甲状腺バイオプシーなどの新製品・参考品を多数展示しました。

小児モデルやブレスト関連製品の問い合わせが多く、ニーズがある分野の一つだと感じました。新たなニーズを発見できるのもこのような展示会ならではだと思います。また、販売店の協力もあり多くのお問い合わせをいただきました。



#### | 出展品

婦人科超音波診断ファントム/乳房超音波診断ファントムBREAST FAN/胎児超音波診断ファントムSPACE FAN-ST/ベーシック超音波ファントム/新生児頭部ファントム/甲状腺バイオプシー(参考出展)/エコーラング/DVTファントム(参考出展)/マルチモダリティファントム(参考出展)

より臨床に近い画像が得られるような再現性とアノミカルなファントムは京都科学の強みであり、よりたくさんのユーザーに使っていただけるよう情報を発信していきたいと思ひます。

編集後記: 今回海外の展示会に初めて参加して感じたことは、規模の大きさ、来場者層・地域の幅広さです。

研究者・教育者・学生・出展業社・販売店などあらゆる方面の方々にお立ち寄りいただき、京都科学をご存知の方も、初めての方も皆、細やかなづくりが素晴らしいとの感想をいただきました。製品への高い評価をたくさんいただき、メーカーとしてより広く世界中の人たちに知っていただくと共に、医療・教育に貢献できるよう尽力していきたいと思ひます。(西澤)

映像情報Medical  
2021年10月号～  
2022年3月号  
に連載!

## 画像診断機器の羅針盤、ファントム開発の歴史とこれから 開発を辿って、 ファントムのこれからの活用意義を再考する

月刊映像情報メディカルに、弊社のファントム開発とその活用を辿る連載企画が掲載されました。「画像診断機器の羅針盤、ファントム開発の歴史とこれから」をテーマに、開発を監修、指導いただいた技師の先生方にファントムの活用と有用性を語っていただくことで、これからの時代に必要とされるファントム像を描ければとの企画意図で執筆頂きました。



映像情報MedicalのWebサイトに会員登録(無料)されますと、最新レポートから記事をご覧いただけます。Webサイトだけの特別コンテンツもありますので、是非ご登録ください。



6回分の連載記事をまとめてみられるEbooksがQRコードからご覧いただけます。  
[https://www.eizojocho.co.jp/html/upload/extra/kyotokagaku\\_phantom\\_history/](https://www.eizojocho.co.jp/html/upload/extra/kyotokagaku_phantom_history/)



### 掲載号とテーマ

第1回  
2021年10月号

放射線技術におけるファントム開発と利活用  
国立がん研究センター東病院 放射線技術部 村松禎久先生/永井優一先生



第2回  
2021年11月号

Dual energy CT対応 —ファントム素材の開発—  
金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 川嶋広貴先生/市川勝弘先生



第3回  
2021年12月号

核医学ファントムの開発を振り返って  
藤田医科大学医学部 放射線医学教室 市原隆先生/乾好貴先生/外山宏先生  
藤田医科大学病院 放射線部 石黒雅伸先生/宇野正樹先生



第4回  
2022年1月号

超音波ファントムの開発を振り返って  
—乳腺(表在用)小型超音波ファントムの開発について—  
六本木ヒルズクリニック 櫻井正児先生



第5回  
2022年2月号

胸部ファントムの開発と教育・臨床への応用  
滋賀医科大学医学部附属病院 放射線部 牛尾哲敏先生  
京都岡本記念病院 放射線科 新田哲久先生



第6回  
2022年3月号

“ものさし”の使い道  
国立がん研究センター東病院 放射線技術部 永井優一先生/村松禎久先生



映像情報メディカルは、1968年の創刊以来、産業界と医学界を結ぶ架け橋として多くの医療関係者に支持されている医用画像の専門情報誌です。  
診断・治療学に関する研究・臨床応用などをわかりやすく、かつ詳細に紹介しています。